



## 民、自、「第三極」の原発稼働と即原発停止の戦い

原発を止めるとは云うけれど

福島原発事故による周辺の惨状をみると、「もう原発は使えない」と云うのが世論。

それを無視できなくなつて、各党は「原発を止める」とは云う。

民主党は「三〇年代」の原発稼働ゼロ実現。自民党は「十年以内」にエネルギー戦略を確立。結局は原発を止めないで使い続ける事。ほとぼりが冷めたら「原発ゼロ」は忘れる作戦だろうか？

第三極と云うけれど

嘉田滋賀県知事と小沢氏の新党「未来」は原発を段階的に削減する「卒原発」。橋下維新の会は脱原発と云つたが、石原氏と組んだ途端「脱原発は二〇三〇年まで」と

トーンダウン。

どの「第三極」も「当面安全を確認して原発を使う」という態度。

絶対安全はない

安全性を十分考えて作つた筈の福島原発は地震、津波、外部電源喪失で事故に至つた。別の原因で他の原発が事故になるかも知れない。絶対安全はない。そして、事故になれば仕事も住まいもなくなる。福島の惨状を見れば明らか。

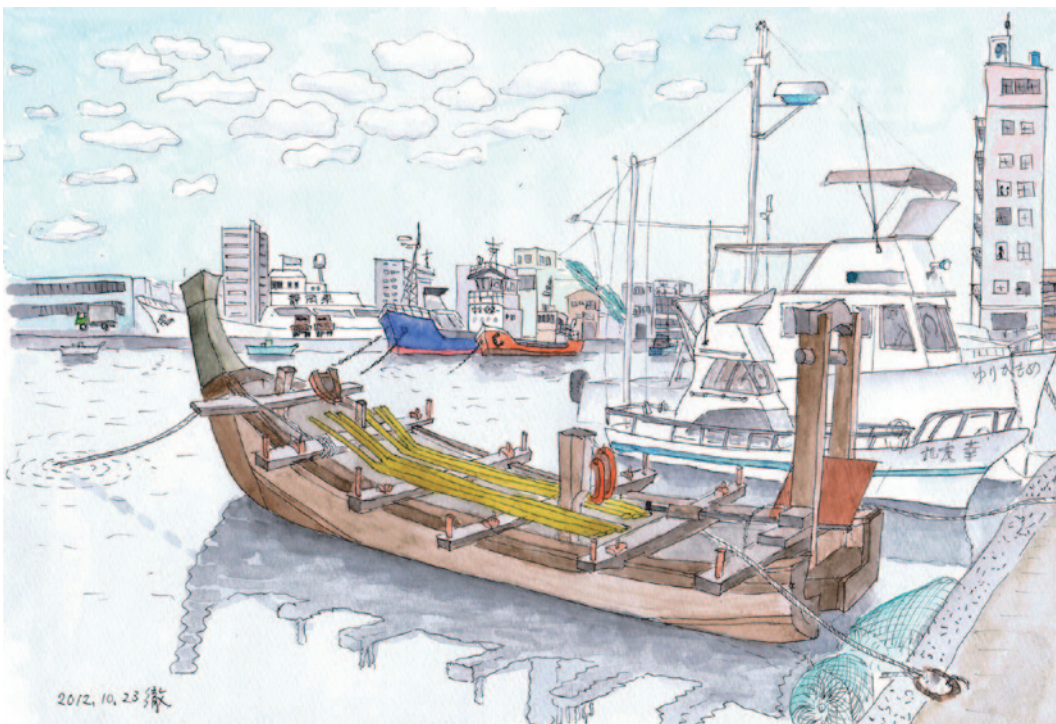
原発は即時停止。エネルギー大量消費を改め、再生可能エネルギーに大胆にシフトするべきだろう。

結局、危ないのに原発を使い続けるのか？即原発を停止するか？この二極しかないと思う。

皆さんはどう思われますか？

はっちょうろ  
八丁艦

焼津



徳川幕府は船の艦は七丁までと定めた。しかし、焼津から久能に漁船に乗った家康は急ぐ為、八丁艦を許した。以後、焼津では鰹漁は八丁艦になった。

汽船の登場で艦を漕ぐ和船は無くなつたが、一九九七年に艦を漕ぐ技術、和船の船大工の技術を後世に伝える為に復元。お祭りや体験乗船に使われた。二〇〇八年にはフランス北西部のブレスト市の国際帆船大会に参加。その八丁艦が焼津港に繋がれていた。

今、スコップのような「櫂」で漕ぐドラゴンボートレースが盛んだ。しかし、伝馬船など、「艦」を漕ぐ日本伝統の和船を復元し、各地でレースをやったらどうだろう。そうすれば、艦を漕ぐ技術も、和船を作る船大工の技術も継承される。